

## 授業計画書 (シラバス)

科目名	経済学	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35 時間	担当教員名	高木郁朗
実務経験のある教員などによる授業			
略歴			
<p>東京大学経済学部卒。労働団体の調査・政策担当をへて、山形大学助教授、教授、日本女子大学、同大学院教授、家政学部長、山口福祉文化大学教授などを歴任。主たる担当科目は経済原論、社会政策。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>企業および社会での活動に必要な経済学のキソ習得させることを目的とする。講義の内容としては、前期には経済学の目的と歴史、ミクロ経済学、後期にはマクロ経済学と経済政策を配置し、一応の体系化を図る。</p>			
到達目標			
<p>経済にかかわる論議に際して使用されるキーワードについて、その内容を一通り習得させ、各種のメディアをつうじて与えられる情報を理解できるようにすることを目的とする。</p>			
授業計画			
前期	後期		
1. 経済学の目的と歴史 2. ミクロ経済学 ① 市場経済 ② 限界原理 ③ 需要曲線 ④ 供給曲線 ⑤ 競争原理 ⑥ 市場の失敗 ⑦ ミクロ経済学のまとめ	1. マクロ経済学 ① 市場と国民経済 ② GDP ③ インフレーション ④ 失業 2. 経済政策 ① 経済成長政策 ② 所得の再分配 ③ 社会的共通資本		
成績評価の方法と基準	成績評価の方法は、期末試験を 100 点満点で採点し、80 点以上=A、70 点以上 80 点未満=B、60 点以上 70 点未満=C、60 点未満=D の 4 段階で評価を行う。追試験は 1 回実施し 80 点満点で採点する。再試験は 3 回未満実施し 60 点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。		

## 授業計画書 (シラバス)

科目名	日本経済	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35 時間	担当教員名	高木郁朗
実務経験のある教員などによる授業			
略歴			
<p>東京大学経済学部卒。労働団体の調査・政策担当をへて、山形大学助教授、教授、日本女子大学、同大学院教授、家政学部長、山口福祉文化大学教授などを歴任。主たる担当科目は経済原論、社会政策。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>企業活動や個人活動の前提となる日本経済の現状を理解させることを目的とする。このため、前期では、統計情報の入手の方法とその読み方、後期では、1990年代以降の日本経済の展開を習得させる。</p>			
到達目標			
<p>学生が自ら経済情報と接し、その内容を理解するとともに、それに関して自分の意見をいえるようになることが望まれる。</p>			
授業計画			
前期	後期		
統計を読む	日本経済の歴史		
① 国民経済統計	① 高度経済成長		
② 人口統計	② バブルとその崩壊		
③ 産業統計	③ アジア通貨危機		
④ 家計・賃金統計	④ リーマンショック		
⑤ 国際収支統計	⑤ 第4次産業革命		
⑥ 財政	⑥ 日本経済の未来		
成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法は、期末試験を100点満点で採点し、80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>		

## 授業計画書（シラバス）

科目名	IT 情報 I	授業の方法	実技・講義
履修区分	必修	授業期	1 年次 通年
授業時間数	175 時間	担当教員名	高木和人
実務経験のある教員などによる授業			○
略歴			
<p>新潟大学人文学部卒業。</p> <p>農事組合法人米沢郷牧場入社。その後、株式会社ウイズワン、株式会社システムテクノロジーアイ、アウズ株式会社を経て、株式会社ジャストシステムにて勤務。ソフトウェア開発技術者（現・応用情報技術者）。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>私が担当する IT 技術は、国際的に共通で、また、さまざまな業種で必要とされる技能だと考えています。さらにコンピュータを使えば、会計や統計などの知識を使った経営や経済の分析を、いろいろ試してみることが手軽にできます。語学とともに IT 技術、会計、統計、経済などといった知識と技能を身に付けることで、国際的に活躍できる力を養ってほしいと考えています。</p>			
到達目標			
<p>変化に対応し続けられる人物になってほしいです。今回の新型コロナウイルス感染問題が示すように、世界は大きく変わるときがあります。そうした変化にきちんと対応できるようになってほしいです。そのために必要なのは、基礎的な知識や技能を身に付けることと、学び続けることだと考えています。当校で IT 技術や会計、あるいは語学などを学ぶことで基礎的に知識や技能を身につけてほしいです。</p> <p>よい将来を築くため、一生懸命学んでください。私たちも全力でサポートします。</p> <p>具体的には IT パスポートまたはマイクロソフト オフィス スペシャリスト (MOS) のいずれかを取得させます。</p>			

授業計画	
<p><b>【IT 基礎】</b></p> <p>コンピュータシステム ソフトウェア ハードウェア コンピュータの数学的基礎 ヒューマンインタフェース マルチメディア データベース ネットワーク セキュリティ システム戦略 システム開発技術 プロジェクトマネジメント サービスマネジメント 企業と法務 経営戦略 期末試験（前期・後期各1回）</p>	<p><b>【Microsoft Office 基礎】</b></p> <p>コンピュータの基本操作と文字の入力 Word の基本操作とテキストファイルの作成 Excel の基本操作 PowerPoint の基本操作と図の作成 Excel の関数とピボットテーブルの活用 Word によるさまざまなドキュメントの作成 PowerPoint によるプレゼンテーション MOS Excel 2016 対策 MOS Word 2016 対策 MOS PowerPoint 2016 対策 期末試験（前期・後期各1回）</p>
<p>成績評価の方法と基準</p>	<p>成績評価の方法は、期末試験を 100 点満点で採点し、80 点以上=A、70 点以上 80 点未満=B、60 点以上 70 点未満=C、60 点未満=D の 4 段階で評価を行う。追試験は 1 回実施し 80 点満点で採点する。再試験は 3 回未満実施し 60 点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>

## 授業計画書 (シラバス)

科目名	日本語 I	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1 年次 通年
授業時間数	175 時間	担当教員名	速水明日香
実務経験のある教員などによる授業			
略歴			
<p>大学にて日本語教育課程副専攻を修了。卒業後、山手インターナショナルスクール (現・山手日本語学校) 入社。上級学習者に対する指導経験多数。2020 年 4 月山手ビジネスカレッジ日本語科主任として就任。中学校・高等学校国語科教諭一種免許、司書教諭免許保有。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>卒業後の就職・進学の場合で留学生にとって重要となる J L P T の合格を全学生の目標とする。1 年目に N 2 ・ N 3、2 年目に N 1 が取得できることを目指し、授業を進めていく。</p> <p>日本語 I では、J L P T の試験科目における学習項目である言語知識 (文字・語彙・文法) ・読解・聴解のうち、文字・語彙を扱う。文法・読解・聴解については日本語 II にて扱うものとする。</p> <p>『日本語総まとめ N 2 漢字』『日本語総まとめ N 2 語彙』(アスク出版) をメインテキストとして使用し、漢字と語彙をそれぞれ隔日で扱う。授業内で導入・練習等を行った後、復習として学生に課題を課すことにより学習の定着を図る。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全員が JLPT の N3 以上に合格する。</li> <li>2. ビジネスの場で交わされる会話や、基本的な文書や資料などを理解できるだけの語彙力を身につける。</li> </ol>			
授業計画			
使用テキスト	<p>… 『日本語総まとめ N 2 漢字』 (アスク出版)</p> <p>… 『日本語総まとめ N 2 語彙』 (アスク出版)</p>		
第 1 回～第 85 回	第 86 回～第 175 回		
日本語総まとめ 漢字語彙 N 3 復習	N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	4 週目	
N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	5 週目	
N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	6 週目	
N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	7 週目	
N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	N 2 日本語総まとめ 漢字語彙	8 週目	
期末試験 (前期)	N 1 日本語総まとめ 漢字語彙	1 週目	
	期末試験 (後期)		
成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法は、期末試験を 100 点満点で採点し、80 点以上=A、70 点以上 80 点未満=B、60 点以上 70 点未満=C、60 点未満=D の 4 段階で評価を行う。追試験は 1 回実施し 80 点満点で採点する。再試験は 3 回未満実施し 60 点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>		

## 授業計画書 (シラバス)

科目名	日本語Ⅱ	授業の方法	講義		
履修区分	必修	授業期	1年次 通年		
授業時間数	175時間	担当教員名	熊田南		
実務経験のある教員などによる授業					
略歴					
<p>大学にて日本語教育課程主専攻を修了。卒業後、学校法人愛光学園 山手日本語学校入職。初級から上級学習者に対する幅広い指導経験より、2020年4月山手ビジネスカレッジ日本語科主任として就任。</p>					
授業科目の目的・内容					
<p>卒業後の就職・進学の場合で留学生にとって重要となるJLPTの合格を全学生の目標とする。1年目にN2・N3、2年目にN1が取得できることを目指し、授業を進めていく。</p> <p>日本語Ⅱでは、JLPTの試験科目における学習項目である言語知識(文字・語彙・文法)・読解・聴解のうち、文法・読解・聴解を扱う。文字・語彙については日本語Ⅰにて扱うものとする。</p> <p>『日本語総まとめN2文法』(アスク出版)をメインテキストとして使用する。1つのテーマの文法を、導入日と文作り日の2回に分けて行い、学習内容の定着と作文力の向上を図る。また、文作り日には読解・聴解も併せて行う。読解については2日に1回学生に課題として課し、授業内で解説する形で理解を深める。</p>					
到達目標					
<p>3. 全員がJLPTのN3以上に合格する。</p> <p>4. ビジネスの場で通用する聴解力と会話を身につける。</p> <p>5. 表現したいことを自由に発話する、もしくは文書として正しく書くことができるようになる。</p>					
授業計画					
使用テキスト	<p>…『日本語総まとめN2文法』(アスク出版)</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><u>第1回～第85回</u></p> <p>日本語総まとめ 文法 N3復習</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 1週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 2週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 3週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 4週目</p> <p>期末試験(前期)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><u>第86回～第175回</u></p> <p>N2日本語総まとめ 文法 4週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 5週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 6週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 7週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 8週目</p> <p>N1日本語総まとめ 文法 1週目</p> <p>期末試験(後期)</p> </td> </tr> </table>			<p><u>第1回～第85回</u></p> <p>日本語総まとめ 文法 N3復習</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 1週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 2週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 3週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 4週目</p> <p>期末試験(前期)</p>	<p><u>第86回～第175回</u></p> <p>N2日本語総まとめ 文法 4週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 5週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 6週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 7週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 8週目</p> <p>N1日本語総まとめ 文法 1週目</p> <p>期末試験(後期)</p>
<p><u>第1回～第85回</u></p> <p>日本語総まとめ 文法 N3復習</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 1週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 2週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 3週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 4週目</p> <p>期末試験(前期)</p>	<p><u>第86回～第175回</u></p> <p>N2日本語総まとめ 文法 4週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 5週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 6週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 7週目</p> <p>N2日本語総まとめ 文法 8週目</p> <p>N1日本語総まとめ 文法 1週目</p> <p>期末試験(後期)</p>				
成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法は、期末試験を100点満点で採点し、80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>				

## 授業計画書（シラバス）

科目名	ビジネスマナー	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35 時間	担当教員名	金井恭子
実務経験のある教員などによる授業			
略歴			
<p>大学卒業後、全日本空輸株式会社に入社し、客室乗務員として勤務。その後、学校法人清武学園荒川幼稚園、株式会社シェーンコーポレーションにて英会話講師を歴任。平成 20 年より株式会社山手学院にて英語科講師として勤務。2020 年 4 月より山手ビジネスカレッジ講師として就任。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>ビジネス・シーンに必要な基本的マナーの学習を通してコミュニケーション力の向上を図るとともに、国際社会で即戦力となりうる人材の育成を目指す。</p> <p>社会人に求められる常識、言葉遣いと話し方、立ち居振る舞い、接客対応と国際ビジネスに通じるマナーの習得をする。</p>			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会人に求められる実践的なマナーが身につく。</li> <li>・ 社会で求められる人物像を理解することで、自分の強み・弱みを発見できる。</li> <li>・ マナーを身につけることで、自信を持って発言・行動できるようになる。</li> <li>・ 海外でのビジネスや海外とのやりとりで積極的な対応ができる。</li> </ul>			

授業計画	
<p>           ビジネスパーソンの基本姿勢            ビジネスでの身だしなみ            ビジネスでの言葉づかい            効果的なクッション言葉            場合に応じたあいさつ            敬語            目標の立て方とスケジューリング            報告・連絡・相談の基本            報告・連絡・相談の仕方            就業態度と整理整頓            入社時・離席時・外出時・退出時のマナー            公私の区別と守秘義務            理解度チェック            期末試験（前期）            電話の基本マナー            電話の受け方・かけ方            不在者宛てへの伝言            携帯電話・電子メールの基本マナー            理解度チェック            受付・案内・席次・見送り方の基本            面会予約と事前準備            名刺交換・面談の進め方・面談時の対応（1）            名刺交換・面談の進め方・面談時の対応（2）            帰社後の対応            理解度チェック            国際ビジネスマナー（1）            国際ビジネスマナー（2）            電話の英語表現の基本            理解度チェック         </p>	<p>           慶事の種類と服装マナー            祝儀・贈答の基本マナー            訃報・葬式・告別式での基本マナー            テーブルマナーの基本知識            会食の際の心得            期末試験（後期）         </p>
<p>成績評価の方法と基準</p>	<p>           成績評価の方法は、期末試験を100点満点で採点し、80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。         </p>

## 授業計画書（シラバス）

科目名	企業戦略・事業計画	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35時間	担当教員名	大西肇
実務経験のある教員などによる授業			○
略歴			
<p>関西大学経済学部経済学科卒。</p> <p>1975年ジャスコ(株) (現在のAEON(株))に入社。小売業の基本と実務を学び、1985年イオングループ労働組合連合書記長に就任。グループ内の「公正な機会と処遇」に向けて「経営と働き方の基盤」となる制度を実現した。店長、店舗開発、IT事業開発等の責任者を経て、グループ内不採算企業であったチェルト(株) (イオン100%子会社、現イオンディライト(株))を再建。事業の再構築、新事業開発、M&amp;Aを通じて、「バックオフィス・サポート事業の基盤」を創り、2004年12月3日株式公開(IPO)を実現した。</p> <p>2007年イオングループを離れ、(株)OD 総研主席コンサルタント、ロゼット(株) (化粧品製造販売業) 取締役社長、(株)山田養蜂場 (通販業) 取締役総務・経営企画管掌、(株)サプリメントジャパン (健康食品製造業) 取締役社長を歴任。2015年(株)ブレーメン再建本舗を設立、代表取締役社長に就任。2017年12月10日、著書「今はまだ小さな会社が進化するための101の手がかり」を出版 (合同フォレスト出版社)。</p>			
授業科目の目的・内容			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「長期的視点」をもつ：10年後を想定した判断、自分自身と自国の可能性を信じる</li> <li>2. 「根元的視点」をもつ：原理・原則 (Principle) の追及、(真因) を掴む、人の心の本質を知る</li> <li>3. 「多面的視点」をもつ：チャンスとピンチは同じ形、多様な人々の知恵を繋ぐ</li> </ol>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「長期的視点」の育成：10年後を想定した判断、自分自身と自国の可能性を実感する。</li> <li>2. 「根元的視点」の育成：原理・原則 (Principle) の追求、(真因) を掴む、人の心の本質を知る</li> <li>3. 「多面的視点」の育成：チャンスとピンチは同じ形、多様な人々の知恵を繋ぐ手法を体得する。</li> </ol> <p>歴史的に、世界の混乱期の中で、多くの「ビジョナリー (未来を信じて不確実に立ち向かう勇気ある起業家)」が新しい世界と時代を創り上げたことを理解し、新規のビジネスを創出できる人材を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「ビジョナリー」：未来を信じて不確実に立ち向かう勇気ある人</li> <li>②地球規模で物事を考え動き、自国の未来をけん引する人</li> <li>③地球規模の繋がり (ネットワーク) を活用し、社会を変える人</li> </ol> <p>となるべく、様々な角度から講義を進める。現在、ITの急速な進化と移動の高速化により地球という「時空」は確実に小さくなり、新型コロナウイルスの蔓延で過去の常識が全く通用しない時代を迎えている。「仲間」と培ったネットワークで、自らが抱いたビジョンを実現する。イノベーションの本来の意味は「新しい繋がり」であり、人と人の新しい結びつきで大きな変革 (Innovation) を生み出し、国と世界を変えられる人材となることを目標とする。</p>			

## 授業計画

経営目的：夢・志・信念を実現する

〃：事業の存在意義・存在価値

〃：変化への事業再定義

経営戦略：現在地から目的までの地図を描く

〃：無用な闘いを略する＝「戦略」

〃：近道を探す＝「後発の優位性」

〃：変わらない普遍の原則を探す

経営理念：目的実現のためのルール

〃：日本の商家の家訓

事業計画：目的までの目標設定と実践内容

〃：A-P-D-C-A を高回転で回す

〃：「演繹的目標設定」「帰納的实践」

経営原則：最小資源で「夢」「志」を実現

〃：変わらないために変わり続ける

〃：普遍の原則を「しくみ」にする

〃：どこにでもいる普通の人为主役

### 1. お客さま（信用）という財産（資産）

①「顧客の創造」とは「需要の創造」

②「生活者」がすべてを決める

③「市場シェア」より「顧客シェア」

### 2. 時間（スピード）という財産（資産）

①ムダの原因は時間資産の浪費

②「時間価値」競争の時代

### 3. ヒト（知恵）という財産（資産）

①自分とヒトの潜在能力を使い切る

②「知恵」を「仕組み」に換える

### 4. 情報（機会）という財産（資産）

①共通の言葉で現状と目標を共有する

②「現場」「現実」「現物」以上の情報なし

### 5. 「志」（信念）という財産（資産）

①夢は見るものではなく叶えるもの

世界の未来、皆さんの国の未来

地球規模の連携が世界を変える

期末試験（前期・後期各1回）

## 成績評価の方法と基準

成績評価の方法は、期末試験を100点満点で採点し、80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

## 授業計画書（シラバス）

科目名	商法・会社法	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35時間	担当教員名	高田淳彦
実務経験のある教員などによる授業			○
略歴			
<p>東京大学法学部卒業、筑波大学大学院経営政策科学研究科企業法学専攻修了、修士（法学）。 鹿島建設株式会社、法務部長、人事部長、常勤監査役を歴任。 現、一般社団法人企業法学会理事。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>法律は専門用語が多く、なじみにくい部分もあるが、自身の実務体験を通して、法律を身近な問題に当てはめ、講義を行う。用語習得はもちろんではあるが、目的は「法律の知識を通して法的な考え方を学ぶ」ことである。</p> <p>法律の学修は、主張の理由そのものを思考する場であり、論理的な思考や多面的な思考が養うことを目的とする。また交渉を進めていくうえで、相手の主張やその背景を理解することも重要であることを理解させる。クール・マインドとウォーム・ハート、のような頭脳と心を合わせ持ったリーガルマインドを修得させる。具体的には、法の一般理論として債権、債務、契約など、商法では、商行為、営業など、会社法では有限、無限責任など、経営にかかわる法律用語の定義と具体的事例を分かりやすく説明する。</p>			
到達目標			
<p>さまざまな交渉の場面に出会うビジネスの世界において、相手に納得される合理的な理由付けをもった説得力のある主張ができる人材を育成する。</p> <p>どんな世界にあってもトラブルは付きものである中、トラブルから逃げるか、それとも立ち向かうかで、周りからの信頼が大きく変わる。</p> <p>原則を守り、公平な解決策を示す、よきリーダーであり、よきトラブルシューターとなることを目標とする。教室の実践としては、その都度小テストにより、それぞれの進度に従い学生がどの程度理解できたかを確認する。</p>			

授業計画	
	<p>法とは何か一法の体系・六法の見方一</p> <p>法律用語の基礎 1</p> <p>法律用語の基礎 2</p> <p>民法①契約</p> <p>民法②債権・債務</p> <p>民法③法律行為・時効・不法行為</p> <p>商法①商法とは</p> <p>商法②商人・商号・商業使用人</p> <p>商法③商事契約</p> <p>商法④代理商・取次商</p> <p>商法⑤営業譲渡</p> <p>会社法①会社法とは</p> <p>会社法②株式・株主・資本金</p> <p>会社法③株主総会</p> <p>会社法④取締役・監査役・会計監査人</p> <p>会社法⑤代表取締役</p> <p>会社法⑥役員等の義務と責任 1</p> <p>会社法⑦役員等の義務と責任 2</p> <p>会社法⑧会社と取締役間との訴訟</p> <p>会社法⑨委員会設置会社</p> <p>会社法⑩コーポレート・ガバナンス</p> <p>会社法⑪計算・配当</p> <p>会社法⑫資金調達・社債</p> <p>会社法⑬定款・設立</p> <p>会社法⑭事業譲渡・合併・分割・持分会社</p> <p>会社法⑮内部統制システム</p> <p>金融商品取引法（インサイダー取引）</p> <p>その他関連法①独占禁止法・下請法</p> <p>その他②特許法・著作権法</p> <p>その他③刑法（犯罪と刑罰）</p> <p>その他④労働基準法・労働契約法</p> <p>その他⑤パート有期労働法・労働者派遣法</p> <p>まとめ・・・コンプライアンス経営</p> <p>期末試験（前期・後期各 1 回）</p>
成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法は、期末試験を 100 点満点で採点し、80 点以上=A、70 点以上 80 点未満=B、60 点以上 70 点未満=C、60 点未満=D の 4 段階で評価を行う。追試験は 1 回実施し 80 点満点で採点する。再試験は 3 回未満実施し 60 点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の 3 分の 2 に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>

## 授業計画書（シラバス）

科目名	日本の企業・海外の企業	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35時間	担当教員名	中菌真理子
実務経験のある教員などによる授業			○
略歴			
<p>津田塾大学教養学部国際関係学科卒。</p> <p>日系及び豪州系商社にて輸出入業務を担当後、HSBCグループにて22年勤務。同社にて経理課長、資金課長、人事部長を経て後、管理部門分社化のサービスカンパニーCEOに就任。当初同社における従業員数7名の一駐在員事務所を、銀行、証券会社、投資顧問を含む総従業員1,000名の組織への育成に従事。</p> <p>在香港同社グループのアジア地域統括事務所兼務のほか数々の新規ビジネス立ち上げ、多くの会社の吸収合併に人事面から深くかかわる。その後新生銀行に入社し、社会貢献と研修を担当。リテール業務の影響力強化研修や、合併業務、及び社会貢献活動として英語による大学対応クイズ大会などに携わる。2010年以降は人材紹介業に転身し、日系・外資系企業の経営層の採用支援活動に従事する。現在は一部上場企業グループのパーソルに参画し、新規ビジネス立ち上げを担当。現パーソルキャリア株式会社エグゼクティブ事業部コンサルタント。</p> <p>社外活動</p> <p>2002年～2006年 国際銀行協会・人事フォーラム会長</p> <p>2008年9月～2012年2月 在日米国商工会議所・ソフトランディングタスクフォース会長</p> <p>2010年11月～2012年12月 在日米国商工会議所・日本における採用タスクフォース副会長</p> <p>2012年3月～2014年11月 在日米国商工会議所・Women In Business 副会長 研修担当</p> <p>2016年3月 ギャラップ社 認定ストレングスコーチ（現任）Gallup Certified Strengths Coach</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>日本の企業、世界の企業の活動事例の比較学習を通して、文化の違いを無意識から意識の上にあげることによって他の文化に対する興味、敬意を持たせるよう指導する。学習の過程で、世界のビジネスの本質は95%同じだと理解させ、国際的に働くための自信を持たせることを狙いとする。しかしながら残りの5%を意識することも肝要と意識させ、相互理解を深め、異文化にある人々との共業についての考えを深めさせ、スキルを習得させる。</p>			
到達目標			
<p>これからの時代は相互理解を深め、異文化にある人々の協力の下にてビジネスは成果を上げていくことを学ばせる。また、仕事の評価とは他者が自らをどう見るかではなく、自分自身が真心から納得できること（仕事）で社会に貢献することだと理解させる。そのような仕事をすることで結果として、知らない間に人からも評価されるようになることを理解させる。</p> <p>また、潜在的にある自身の「能力・才能」を理解し、その「能力・才能」を如何に顕在化するかをも他方の目的とする。</p>			

授業計画	
	<p>日本の企業・海外の企業を学ぶ意義            日本における企業の起こり・歴史            企業の分類 1次2次3次            上場、未上場企業            企業の組織            企業のミッション・ビジョン            一次産業            製造業1            製造業2            建設・不動産業            電気・ガス            運輸            商社            金融・保険            IT・テレコム            サービス            海外の企業            ヨーロッパ1            ヨーロッパ2            アメリカ1            アメリカ2            中近東            中近東 — イスラエル            東南アジア            東アジア            アフリカ            中国            企業と人材育成            日本企業の採用システム            日本のこれからの雇用環境            日本とアジアパシフィックにおける就業意欲            人材採用会社            まとめ            期末試験（前期・後期各1回）</p>
成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法は、期末試験を100点満点で採点し、80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>

## 授業計画書（シラバス）

科目名	日本の社会	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35時間	担当教員名	及川智洋
実務経験のある教員などによる授業			○
略歴			
<p>1990年、東北大学法学部法学科卒業。</p> <p>朝日新聞社入社。社会部、文化くらし報道部などに勤務。2016年に退社後、法政大学大学院博士後期課程政治学研究科修了。</p> <p>2020年から法政大学兼任講師（政治学）。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>馴染み易い内容にての「日本の社会」についての考えを深め、今後の対応策を共に導き出す講義を行う。学生の視点と疑問、「なぜ？」を確認し、尊重しながら進める。日本の企業で働く上において、その前提として、日本の社会の特徴、企業と、そこで働く人の考え方、行動様式を理解することは必須であり、それらの習得は日本のビジネスの世界での、仕事上の成功のために役に立つと考える。どの国の社会にも、それぞれ特徴があり、特に海外出身の学生については日本の社会を学ぶことで、それぞれの国に帰ってビジネスをする場合、自国の社会を改めて見直し特徴を考える貴重な機会になると考える。新聞記者としての経験から、調べて書くトレーニングの初歩も伝えたい。</p>			
到達目標			
<p>日本の仕事で一定の成果を出すことができれば、国際的なビジネスでもその経験が役立てることができる。そのためにはまず自らが働く国の社会を正しく理解することが必要であることを意識させ、習得させる。また、どの国でも、あるいはどの地域でも、信頼されるのは、誠実でまじめな人、与えられた仕事をきちんと仕上げる人だという前提から、日本の社会に起こった事象とその世論や展開を学ぶことを通じて、日本人の考え方の特徴はもちろん、日本人の勤勉さ、根気強さといった優れた点も学び、最終的にはそれをビジネスのアドバンテージとして生かせる人材となることを目標とする。</p>			

授業計画	
	<p>ガイダンス 家族→学校→社会</p> <p>家族① 結婚（結婚の減少、離婚の増加）</p> <p>家族② 少子化（変わる子育て環境）</p> <p>家族③ 単身世帯の増加と高齢者</p> <p>日本の学校① 変わる先生、生徒、親の関係</p> <p>日本の学校② 学歴社会と受験</p> <p>日本の学校③ 資格と就職</p> <p>女と男① 女性の権利向上</p> <p>女と男② 非婚＝独身という選択肢</p> <p>女と男③ 男女格差とジェンダー</p> <p>日本の政治① 選挙は何のため？</p> <p>日本の政治② 政治家の役割</p> <p>日本の政治③ 意見の違いと話し合い</p> <p>社会的課題を考える① 子どもの虐待</p> <p>社会的課題を考える② 高齢者の運転</p> <p>社会的課題を考える③ 生活保護の増加</p> <p>メディアと私たち① 活字からスマホへ</p> <p>メディアと私たち② フェイクニュース</p> <p>メディアと私たち③ 情報とリテラシー</p> <p>社会人とは① 就職という人生最初の難関</p> <p>社会人とは② 「会社」と「社会」</p> <p>社会人とは③ 正社員と非正規雇用</p> <p>外国人労働者① 増え続ける理由は</p> <p>外国人労働者② 日本の労働環境</p> <p>外国人労働者③ 移民を受け入れるか</p> <p>国際関係を考える クールジャパン</p> <p>福祉社会と排外主義を考える</p> <p>日本人と宗教観 お祭りと「葬式仏教」</p> <p>災害と助け合い① 震災と原発事故の影響</p> <p>災害と助け合い② 行政とボランティア</p> <p>災害と助け合い③ 日本社会は安全か</p> <p>2050年の日本社会① 家族と地域は？</p> <p>2050年の日本社会② 働く現場は？</p> <p>期末試験（前期・後期各1回）</p>
成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法は、期末試験を100点満点で採点し、80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>

## 授業計画書（シラバス）

科目名	経営学	授業の方法	講義
履修区分	必修	授業期	1年次 通年
授業時間数	35 時間	担当教員名	岩原亮
実務経験のある教員などによる授業			
略歴			
<p>大学院卒業後、一般企業勤務を経て 2012 年（株）山手学院に入社。2020 年 4 月より山手ビジネスカレッジ講師として就任。</p>			
授業科目の目的・内容			
<p>経営学とは事業が成功する為の作戦を学ぶ学問です。経営学は、事業を起こす人だけが必要であり、企業に勤める人は必要ないと考える方がいます。ただそれは間違った認識です。組織が大きいほど、仕事は細分化され自分が会社の中で担う役割がわかりにくくなります。経営学を学ぶことで自分がどのような仕事を求められるのか理解するようになるので仕事のやりがいを見つけやすくなるでしょう。世界中の全ての人にとって役立つ学問が経営学です。国際的にはビジネスパーソンを考えたとき、もちろん経営学は英語に引けを取らない学問です。経営学の知識を身につけることで、どの国でも働くことができるようなビジネスパーソンになれるでしょう。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業を成功させるための経営の基本手法を身に着ける。</li> <li>2. 経営の視点において、自分にどのような仕事が行われているかを理解する。</li> <li>3. 世界で通用するビジネスパーソンとして経営の基礎知識を習得する。</li> </ol>			

授業計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイダンス</li> <li>○経営学の概要</li> <li>○「事業戦略」</li> <li>○「人」について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人材」の定義について</li> <li>・経営資源としての「人材」</li> <li>・「人材」の育成</li> <li>・「人材」の確保の重要性と問題点</li> <li>・組織の効率的マネジメント</li> <li>・給与の適宜設定</li> </ul> </li> <li>○「金」について <ul style="list-style-type: none"> <li>・資金調達について</li> <li>・企業会計の基礎について</li> <li>・財務の管理</li> <li>・株と株式会社の仕組み</li> <li>・キャッシュフローについて</li> <li>・利益の創出について</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「物」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生産設備」とは何か</li> <li>・「サービス」を生み出す方法</li> <li>・経営学における広義の「物」の定義</li> <li>・経営戦略と「物」の関係性について</li> </ul> </li> <li>○情報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業に必要な「情報」とは</li> <li>・情報経営への有効的・合理的活用</li> <li>・近年の情報の価値の高まりとその要因</li> <li>・知識資産について</li> <li>・情報の保有と企業の競争力を向上について</li> </ul> </li> </ul>
<p>成績評価の方法と基準</p>	<p>成績評価の方法は、期末試験を100点満点で採点し、80点以上=A、70点以上80点未満=B、60点以上70点未満=C、60点未満=Dの4段階で評価を行う。追試験は1回実施し80点満点で採点する。再試験は3回未満実施し60点満点で採点する。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。</p>